



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：唐澤敏治 副会長：田中洋 幹事：市川満貞

<p>ロータリー： 変化をもたらす</p>	<p>2017-2018 国際ロータリーのテーマ  <b>ロータリー：変化をもたらす</b>                  ROTARY: MAKING A DIFFERENCE</p> <p>2017-2018 RI会長                  イアン H.S. ライズリー                  オーストラリア                  (ビクトリア州)</p>	
<p><b>第1433回例会 平成30年1月16日(火)</b></p>		

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 平澤理ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・伊那中央RC支援留学生 金根さん

■ 会長談話 唐澤敏治会長



国土交通省が伊那市長谷で行う自動運転の走行実験に向けて、実験用バスの持込準備が15日から始まりました。国交省では全国13ヶ所で実施している実証実験のうち、長野県内唯一の実験地コースは道の駅（南アルプスむら長谷）と長谷総合支所を結ぶ往復5キロ、運転席に人が座って自動運転をする「レベル2」を主に行い、コース内で一般車両を規制し運転席から人が離れる「レベル4」も行うと云うことです。16日からはマーカーの埋設作業ほかGPSから得た位置情報を基に正確に走るための準備を2月初めまでに終える予定。南アルプスが大変きれいに見える長谷の地において自動運転の実証実験が行われることは、伊那谷の地に大変大きな役割を果たすものと思います。2月に土・日を利用して開始式を行い、走行実験には自動運転のバスに乗る市民モニター100人を確保すると言っておりますので、皆さんの力を結集し伊那中央ロータリークラブのメンバーも是非モニターの仲間入りをさせていただきたいと思いますがどうでしょうか？

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤敏治 田中真人さん、本日の会員卓話ご苦労様です。支援留学生 金根さん、ようこそお出で下さいました。ゆっくりして下さい。
- ◆田中洋 今年、はじめてです。明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。皆様のご健勝をお祈り致します。
- ◆伊澤和男 リニアも開通になり、冬季オリンピック、サッカー、ラグビー、東京五輪。時代も変わりましたネ～。今年もよろしくお願いします。
- ◆唐澤千明 皆様にとっては穏やかな新年を迎えられたことと思います。今年も良い年になりますようお祈り申し上げます。
- ◆清水吉治 伊那フルーツアンサンブル恒例の「春をよぶコンサート」を2月18日(日)いなっせにて開催します。演奏もニコBOXも頑張りますので宜しくお願いします。
- ◆多田浩之 先般1月11日に2017年度の表彰で社長賞をいただいて参りました。慣れないものをもらったため、当日雪と氷で道で滑り対物事故をおこし、表彰式に遅刻致しました。昨年度お世話になったお客様に感謝致します。賞品はガラスのトロフィーでした。お金が欲しいと社長に伝えとききました。

## ■ 幹事報告

市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員6名 長欠会員2名 本日出席者28名 事前メイク4名  
出席率86.49% 前回出席率 修正なし

## ■ 会員卓話

田中真人会員



仕事の中で舗装について良く聞かれることを今回話したいと思います。おそらく皆様が一番聞きたいのは工事の金額的なことだと思いますが、今回はご勘弁いただきたいと思います。

まず雨でも舗装は出来るのか？ですが、雨では基本出来ません。アスファルトを引く前に乳剤を撒きますが、雨で地盤が濡れていると乳剤を弾いてしまうので、雨天時には舗装工事は行いません。特に公共工事となれば尚更です。

次に舗装が終わって車の乗り入れはいつ出来るのか？ですが、普通車に限ってですが舗装を手で触れるくらいの温度になれば車が乗っても大丈夫な目安です。すぐアスファルトが冷める冬場は半日位、夏場は1日位待つ必要あります。

あと舗装ってどのくらいの厚さがあるの？ですが、上伊那地域の場合まず市町村道は1層4cmの1層構造で、個人のお宅を舗装する場合も同じ厚さで仕事しています。いなっせ前の商店街の道路などの県道は1層5cmの1～2層構造、国道153号は1層5cmの2～3層構造です。ちなみに飛行場の滑走路ですが1層5cmが合計4層で成り立っていて、更にその下層にコンクリートの床版という構成となりますので、飛行場滑走路の舗装はアスファルト舗装の中でも最も頑丈なアスファルトと言えます。

次に世界の舗装仕事について話します。

まずオーストラリアの滑走路ですが、最初に乳剤をペンキを塗るように撒きますが地面は何も手をつけていません。その上から別のダンプ作業車が仕上げるだけです。日本ではフィニッシャーという建設機械で平らに均しますが、ダンプに載せた材料を落とすだけです。この方法で2日間に合計4.9kmの滑空路用道路が完成しました。およそ30000m<sup>2</sup>の舗装工事です。オーストラリアという広大な大地があるからこそ出来る舗装の作り方でしょう。

次にオランダの石畳を並べる舗装を紹介します。まず砂を均して平らにします。次にブロックを並べる機械にブロックをざっくばらんに詰め込み、向きも大きさもバラバラなブロックがきれいに並んで舗装されています。日本はブロック舗装が少ないのでブロックは基本作業員の手で並べます。

こちらもオランダですが、2015年に発表された開発中の道路で「プラスチック・ロード」という、文字どおりプラスチックで道路を作ってしまうものです。事実上メンテナンスが無くマイナス40度から80度まで耐えることができます。なかなか魅力的なアイデアであるので、もし日本でこういった道路を作ることになったら私も手掛けてみたいです。

今回の卓話を通じて少しでも舗装に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

## ■ 点 鐘

13:30

次回例会

1月30日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

・クラブフォーラム「職業・社会奉仕委員会」